

スーパー

# SPARC M7-16 UNIXサーバ

高スループットプロセッサ「SPARC M7」を最大16CPU搭載できるハイエンドUNIXサーバ。  
圧倒的なスループット性能とスケーラビリティにより、変化の激しいビジネス要求への対応を可能にします。

## 高性能プロセッサによる 卓越したスループット

SPARC M7-16は、優れた多重処理性能により、幅広い業務分野で最良の選択肢となるべく開発されたUNIXサーバです。

1CPUに32コアを実装したSPARCプロセッサ「SPARC M7」を最大16CPU搭載。1コアあたり8スレッドを実行可能なため、1システムあたり最大4,096スレッドの多重処理性能を実現しました。

この卓越したスループットにより、Webサービスやアプリケーションサービスを始めとする様々な分野において、高いパフォーマンスを発揮します。

## 高速でセキュアな機能

SPARCプロセッサ「SPARC M7」はソフトウェア・イン・シリコン・テクノロジーを搭載したプロセッサであり、高いセキュリティと信頼性を維持しながらデータベースやアプリケーションの更なる高速化を可能とします。

また、「SPARC M7」には、ソフトウェアによるメモリ・アクセスをハードウェアで監視するSilicon Secured Memory機能が搭載されており、メモリ上の重要データへの攻撃を検出、防止します。

加えて、プロセッサ内蔵のオンチップ暗号化アクセラレーション機能により、パフォーマンスの低下を招くことなくワイヤスピードの高速暗号化機能を提供します。

## 仮想化機能

SPARC M7-16は、OS機能であるOracle Solarisゾーンと、ファームウェア層で複数の仮想ハードウェア環境を構築するOracle VM Server for SPARCにより、サーバ仮想化とシステム統合を実現します。

## グローバルスタンダードOS 「Oracle Solaris」

SPARC M7-16はオペレーティングシステムとして「Oracle Solaris」を採用。UNIX OSの世界標準として、Javaをはじめとしたインターネット技術や、数々の業界標準仕様に対応しています。また、「Oracle Solaris」は仮想化技術「Oracle Solarisゾーン」や高いセキュリティ機能を備え、お客様のシステムを支えます。

## 高信頼

SPARC M7-16では様々な高信頼技術を採用しています。システムの心臓部であるプロセッサは、コア単位での動的縮退が可能。

万が一の障害発生時にもシステムを止めることなく業務の継続が可能です。メインメモリについては拡張ECCによって保護。シングルビットエラーが発生した場合には確実にエラー訂正を行いデータを保護します。

また、ハードウェア物理パーティションをサポートしており、柔軟性と信頼性を兼ね備えたパーティション構築が可能。高い障害隔離性を実現します。

さらに、ディスク、電源、ファン等の主要なコンポーネントの冗長化はもちろん、活性交換にも対応。信頼性と可用性を向上させています。

## コスト削減

SPARC M7-16は、仮想化、セキュリティ、マネジメント・テクノロジーを追加コストなしで利用可能。

ビジネスクリティカル・アプリケーションを仮想化して統合することで、管理費を削減。運用時におけるオーバーヘッドの低減と共に、システムの導入、維持・管理にかかる総合的なコストの削減を実現します。



モデル名		SPARC M7-16
プロセッサ		SPARC M7
CPUクロック		4.13GHz
キャッシュメモリ		1次キャッシュ：16KB (命令) (1コアあたり) + 16KB (データ) (1コアあたり) 2次キャッシュ：256KB (命令) (4コアあたり) + 256KB (データ) (2コアあたり) 3次キャッシュ：64MB
CPU数 (最大)		16
コア (1CPUあたり)		32
メインメモリ	最大容量	16TB
	エラー訂正機能	ECC、拡張ECC
内蔵ディスク/SSD	搭載台数	なし
	内蔵ディスク容量	なし
I/Oスロット (最大)	内蔵 (最大)	PCI Express 3.0：48スロット (carrier card)
冗長機構		メモリ <sup>*1</sup> 、電源ユニット、ファン、電源系統、PCIカード <sup>*2</sup>
活性交換機構		電源ユニット、ファン、PCIカード <sup>*2</sup>
外形寸法 <sup>*3</sup> 幅×奥行×高		600mm×1,200mm <sup>*4</sup> ×1,998mm
質量		749kg <sup>*5</sup>
電源条件	電圧	低電圧：AC200～220V/高電圧：AC380～415V
	相数	3相
	周波数	50Hz/60Hz
最大消費電力		22,800W
最大発熱量		82,084kJ/hr
省エネ法に基づくエネルギー消費効率 <sup>*6</sup> 2011年度基準		対象外

\*1 DIMMスベアリング有効時。

\*2 マルチバス構成時。

\*3 突起物を含まない外形寸法。

\*4 前面ドアハンドルから背面ドアハンドルまでの寸法。

\*5 PCIカード/ラックマウントレールを含んでいません。

\*6 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能 (単位：ギガ演算) で除したものです。

\* OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における商標登録です。

\* 文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

\* すべてのSPARC商標は米国SPARC International, Inc.のライセンスを受けて使用している、同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

\* UNIXは、米国および他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

## 運用・保守サービス SupportDesk

### ●SupportDesk Standard

富士通サポートセンター (OSC<sup>\*</sup>) の専門技術者が、ハードウェア/ソフトウェアを一括で24時間365日サポートします。定期点検やリモート通報などの予防保守、お客様ホームページでの運用支援情報の提供などを行います。万一のハードウェアトラブル時には、全国拠点からサービスエンジニアを派遣し、修理作業を実施。充実したサービス内容で、システムの安定稼働を強力にバックアップします。

【サービス時間帯】 24時間365日対応 (ご契約の内容により異なります)

\* OSC：One-stop Solution Center (SupportDeskご契約のお客様専用の総合サポートセンター)

### ●オプションサービス

#### ■高可用性運用を支援するカスタマイズサービス

「SupportDesk Standard」をベースとした各種オプションサービスをご用意しています。

\*本サービスはSupportDesk 基本サービスが契約されていることが前提です。

#### 保守サービスプラス

定期点検時の稼働状況やトラブル発生時のデータ復旧など  
製品保守の付帯作業を行うサービス

#### データセキュリティ

復旧作業  
定期レポート  
予防保守

#### 運用サービスプラス

インフラ全般にわたる運用業務 (監視、問い合わせ対応、定常オペレーション) をお客様に代わり実施するサービス

#### システム監視

システムマネジメント  
システムオペレーション

\* SupportDeskに関する詳細はインターネット情報サイト「製品サポート」をご覧ください。 <http://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/products/sparcenterprise/>

## 環境への取組み

### マニュアルの電子化

自然保護、環境への配慮により、紙資源の節約への貢献を目的として、従来の印刷マニュアルを必要最小限におさえ、電子データ (PDF) で提供しています。

富士通の環境についての取組みの詳細は、富士通ホームページ「環境活動」をご覧ください。 <http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/>

### 廃棄・譲渡の際のハードディスク内データ消去について

ご使用になっていたサーバを破棄・譲渡する際には、お客様の責任でハードディスクに記録された全データを消去することを強く推奨します。

(詳細につきましては、「<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/notices/2003-0909.html>」をご覧ください。)

◎仕様は改良のため予告なく変更することがありますので予めご了承ください。

製品・サービスについてのお問い合わせは

**富士通コンタクトライン (総合窓口) 0120-933-200**

受付時間9:00～17:30 (土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

<http://www.fujitsu.com/jp/sparc/>